

2012年度 情報検索基礎能力試験

試験問題

注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に氏名とフリガナを記入し、下の記入例を参照して受験番号を記入およびマークして下さい。
また、「選択したコース名」欄に「Aコース」または「Bコース」何れかを必ずご記入下さい。記入のない場合は、採点対象となりませんので、ご注意ください。
3. 解答時間は、10：30～11：30の60分間です。
4. 中途退席はできません。
5. 問題は18問、13ページ、解答用紙は1ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。
また、受験票を忘れずにお持ち帰り下さい。

記 入 例				
受験番号				
3	1	0	6	8
0	0	●	0	0
1	●	1	1	1
2	2	2	2	2
●	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	●	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	●
9	9	9	9	9

問1 次の文章の（１）～（５）に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を２回以上使用しないこと。

図書はその利用方法から、全体を通読するための一般図書と、必要な部分だけを参照する（１）に分けることができる。一般図書には、一般書、（２）、（３）、専門書などがある。（１）には、辞書、事典、（４）、年鑑、地図、（５）、年表、図鑑などがある。

解答群

- | | | | |
|--------|---------|-------|---------|
| a. 教科書 | b. 参考図書 | c. 新聞 | d. 情報 |
| e. 統計書 | f. 入門書 | g. 便覧 | h. メディア |

問2 次の（６）～（１０）の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を２回以上使用しないこと。

（６）ISOやIECなどの団体によって決定した規格。両団体には日本工業標準調査会が加盟している。

（７）JISやANSIなどのような機関の制定した規格。

（８）ASTMやIEEEなどの学術団体や業界団体が制定する規格。

（９）CENなど限られた国々あるいは地域内の標準化団体によって、その共通の利便のために作成されている規格。

（１０）官公庁における使用機器統一のために制定している規格で、防衛省規格(NDS)などがある。

解答群

- | | | | |
|----------|----------|---------|---------|
| a. 官公庁規格 | b. 学会規格 | c. 国際規格 | d. 国家規格 |
| e. 社内規格 | f. 自治体規格 | g. 団体規格 | h. 地域規格 |

問3 次の(11)～(15)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (11) コンピュータを使った情報検索サービスは1960年代に米国で始まった。その頃の検索サービスは、利用者が直接的に検索をおこなう形態ではなく、利用者の代わりに検索する専門家がいた。このような専門家のこと。
- (12) 遠隔に置かれたホストコンピュータと手元の端末とを通信回線で接続し、利用者がリアルタイムで検索を実行できる検索のこと。このような検索サービスは年々発展し、多種多様なデータベースが提供されるようになった。海外ではDIALOGやBRSなどの検索サービスがいちはやく発達し、日本においても1976年にJICST(日本科学技術情報センター：当時)が、JOISの提供を開始した。
- (13) 従来はホストコンピュータのディスク上に置かれていたデータベースがCD-ROMに収録され、利用者はそれを自分の手元のパソコンに設置して検索を実行する。この検索方式のこと。この検索方式の利点は、コンピュータとの接続時間を気にせず、落ち着いて繰り返し検索できる点にあった。
- (14) オンライン閲覧目録のこと。各図書館の所蔵資料の目録をコンピュータで検索できるようにしたもの。最近では、インターネット経由で利用可能な場合が多い。
- (15) インターネットの爆発的な普及に伴って、1990年代半ばに登場した。Web上の情報資源を検索するためのソフトウェアあるいはサービス。ディレクトリ型、ロボット型などの分類がある。

解答群

- | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|
| a. OPAC | b. WWW | c. オフライン検索 | d. オンディスク検索 |
| e. オンライン検索 | f. サーチエンジン | g. サーチャー | h. ライブラリアン |

問4 次の文章の(16)～(20)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

情報検索システムの多くは、大規模なデータに対する高速な検索を実現するために、索引ファイル(または転置ファイル、転置索引ファイル)を活用している。索引ファイルに登録された語を(16)という。一般に、この(16)を抽出する作業は(17)と呼ばれる。英語のtheやofなどのいわゆる機能語は落とされて、索引ファイルには登録されないことが多い(これらの語は(18)と呼ばれる)。英語では空白を目安に語を区切ることができるが、日本語の場合には、語の間の切れ目は原則的に存在しない。そこで日本語の場合、(17)のためのより複雑なルール・アルゴリズムが必要になる。よく使われている方法は自然言語処理技術の(19)を応用した方法がある。他には、明示的に語を識別せず、重複させつつ2文字ずつ機械的に区切って(例えば「図書」「書館」「館法」など)、これに基づいて検索を実行することもある。これを(20)という。

解答群

- | | | | |
|------------|----------|------------|------------|
| a. 形態素解析 | b. 索引語 | c. 索引作成 | d. ストップワード |
| e. バイグラム | f. フィールド | g. ユーティリティ | h. リニアファイル |
| i. ワイルドカード | | | |

問5 次の(21)～(25)の各文章について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを解答用紙にマークしなさい。

- (21) 論理記号が利用できる検索システムにおいて、「風力発電または地熱発電に関する文献」を論理演算する場合は論理積を使用する。
- (22) 論理記号が利用できる検索システムにおいて、「ワークステーションを除いたコンピュータ」を論理演算する場合は論理差を使用する。この場合、「コンピュータ」と「ワークステーション」の両者を扱った文献は検索されないことになるので注意を要する。
- (23) 「information」「technology」の2語を、近接演算子を使って組み合わせると、これらの出現位置を指定した文献を検索することができる。ただし、「information processing technology」を検索対象とすることはできない。
- (24) 索引ファイルを活用している検索システムの中には、「library science」という複合語を検索するために、「(ダブルクォーテーション)で囲む方法を採用しているものがある。
- (25) トランケーション機能が利用できる検索システムにおいて、graphの前方一致検索を実行すると、graphic、telegraph、bibliographyを一度にヒットさせることが可能となる。

問6 次の文章の(26)～(30)にあてはまる最も適切な用語を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

索引作成を行う際に、検索対象となる文献のタイトル等に出現する語のみを抽出して索引ファイルに登録した場合、同義語や表記のゆれに起因する(26)が発生する。例えば、検索者が「計算機」という検索語を使用したとき、書名中の用語が「コンピュータ」であるならば、この図書は検索されない。

これに対処するための伝統的な方法が、(27)または(28)の活用である。例えば、(27)には、主題を表現するためのいくつかのキーワードが掲載されており、この中から、図書館員等が各図書にふさわしいものを選んで付与する。一方(28)の場合には、主題を表すキーワードは(29)と呼ばれる。

どちらかと言えば、(27)は図書向きで幅広い主題領域をカバーし、それに対して(28)は学術論文向きで、ある特定の領域に特化しているという特徴がある。

実際の検索システムでは複数の操作方式があるが、例えば(30)検索方式では、
>FIND 図書館 AND コンピュータ
のように、画面上の1つの行に(30)を入力することによって、ファイルの選択や検索の実行、検索結果の画面出力などの操作を行う。

解答群

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| a. 検索もれ | b. 件名標目表 | c. コマンド |
| d. シソーラス | e. シノニム | f. ディスクリプタ |
| g. 日本図書分類 | h. フォーム | i. フリーターム |

問7 次の(31)～(35)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (31) LANなどの局所的なコンピュータ・ネットワークを相互接続した「ネットワークのネットワーク」であり、現在では、世界規模で広がっている。
- (32) 通常の電話回線を使って、高速のデジタル通信を可能にする方式。
- (33) 人間が判読可能な文字と、改行やタブなどの一部の制御コードのみを含んだ、基本的なファイル。
- (34) 他人のコンピュータに勝手に入り込んで、不正な働きをするプログラムのこと。
- (35) 圧縮ファイル形式の一つ。最近のWindowsOSで手軽にあつかえる圧縮形式。

解答群

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| a. ADSL | b. MD | c. ZIP |
| d. インターネット | e. イン트라ネット | f. コンピュータウイルス |
| g. テキストファイル | h. バイナリーファイル | |

問8 次の(36)～(40)の各文章について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを解答用紙にマークしなさい。

- (36) 英語はわずか7ビット(128文字)で表現できるが、日本語の場合には、かなやカタカナ、漢字があるので、8ビット(256文字)でも無理である。
- (37) CD-ROMは追記のみ可能(すなわち書き換えは不可能)な光ディスクである。
- (38) コンピュータはいくつかのソフトウェアによって作動・機能するが、その最も基本的なものはOS(オペレーティングシステム)である。
- (39) 最近のOSは、CUIを採用しており、カラフルな画面上に示されたボタンやアイコンをマウスで操作することによって、コンピュータに種々の指示を与えることができる。
- (40) アプリケーションソフトを開発したり、コンピュータの操作を自動化するためには、何らかのプログラミング言語を使って、プログラムを作成する必要がある。

問9 次の(41)～(45)の説明にあてはまる最も適切な用語を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (41) ドメイン名とIPアドレスとを対応付けるシステム
- (42) コンピュータ間でファイルを転送(コピー)するためのプロトコル
- (43) 電子メール・サーバ間で、データを転送するためのプロトコル
- (44) HTMLで記述されたファイルをWWWのブラウザで読み出すためのプロトコル
- (45) クライアント側で処理を実行させるプログラミング言語の一つ

解答群

- | | | | |
|------------|---------------|---------|-----------|
| a. ARPANET | b. CGI | c. DNS | d. FTP |
| e. HTTP | f. JavaScript | g. SMTP | h. TCP/IP |
| i. Telnet | j. UNIX | | |

問10 次の文章の(46)～(50)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

マークアップ言語のうち、(46)はタグの自由な設定を可能とする言語である。

例えば、

<図書>
<書名>情報の管理と検索</書名>
<出版者>情報科学技術協会</出版者>
</図書>

のようにデータを表現できる。ただし、(46)データを通常のWebページのように見やすく表示するには、(47)などを使ってレイアウトに関する情報を別個に与える必要がある。

(46)は、データに対してより豊富な意味を持たせようとする次世代のWWWを実現するための中核技術として、重要な役割を担いつつある。例えば、(48)はインターネット上のさまざまな情報資源に対して(49)を付与するための一般的なしくみであるが、この(48)は(46)をベースとしている。ここで、(49)とは、いわば図書に対する目録データに相当し、各情報資源の作成者や内容、由来などを記述したデータを指す。

インターネット上のニュースサイトやブログの中には、(50)と呼ばれる形式を使って更新情報を送信しているものもあるが、この(50)は(46)形式に基づいている。これらの例が示すように、インターネット上での文字情報の送受信には(46)が非常に有用である。

解答群

- | | | |
|----------------|----------|--------|
| a. HTML | b. PDF | c. RDF |
| d. RSS | e. XML | f. XSL |
| g. アプリケーションデータ | h. メタデータ | |

問11 次の(51)～(55)にあてはまる最も適切な用語を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (51) 技術などが普及する過程において市場を占めるに至った事実上の標準のこと
- (52) 国際的な工業標準の策定を目的として設立された非政府組織
- (53) 指紋や掌形、静脈等の身体的な特徴や、サインやキーボード入力の際の癖といった行動的な特徴を利用して認証を行う方法
- (54) OS やアプリケーションなどのソフトウェア上のバグや欠陥などにより生じるセキュリティ面の弱点のこと
- (55) 暗号化技術のうち、秘密鍵と公開鍵の2つのペアの鍵によって暗号通信を行う方法

解答群

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| a. ISO | b. JISC | c. 共通鍵暗号方式 |
| d. 公開鍵暗号方式 | e. セキュリティソフト | f. セキュリティホール |
| g. デジタル標準 | h. デファクト標準 | i. バイオマーカー |
| j. バイオメトリックス | | |

問12 次の(56)～(60)に最も関連の高い語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (56) 著作権は、それを創作した時点で権利が発生する。
- (57) Webページをダウンロードしたり印刷することは、本人あるいは家庭内での利用の範囲内に限り著作者の許諾なく行うことができる。
- (58) 作成したHTMLファイルをWebサーバにアップロードすると、利用者が閲覧したいという要求に応じて、不特定多数を対象に自動的に送信される。
- (59) 学術雑誌に掲載された論文などをインターネット上で無料で公開し、自由に利用できることを目指す活動は、世界で広く行われている。
- (60) 物品のデザインなどに関連した意匠権、商品やサービスに使用される名称やマークを保護する商標権などの産業財産権は、特定官庁によって管轄されている。

解答群

- | | | |
|--------------|-------------|-----------|
| a. オープン・アクセス | b. オープン・ソース | c. 公衆送信権 |
| d. 著作権法第30条 | e. 著作権法第31条 | f. 著作者人格権 |
| g. 特許庁 | h. 文化庁 | i. 方式主義 |
| j. 無方式主義 | | |

選択Aコース

問13-A 次の(61)～(65)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (61) 図書館資料に関する書誌的記録内容(タイトル、著者、出版者、出版年、件名、分類記号など)を一貫した原則に基づいて記述したもの。書誌情報に所蔵情報あるいは所在情報を伴っていないものは、厳密にはこれには該当しない。
- (62) 文献などの中で研究の対象や解説の対象となるもの、およびその文献で中心的に論じられている内容で、著者が読者に伝えたいと考える情報内容の重要なポイントのこと。
- (63) 事物、現象、概念などを対象に、類似のものを集めて、あるいは異なるものを区分して体系化すること。
- (64) ある特定の情報を検索するために、その情報を示す語句または記号等を取り出して、一定の順序に並べ、その情報の所在を指示したもの、および並べたリストのこと。
- (65) 記事内容の概略を迅速に把握する目的で作られた文章で、主観的な解釈や批判を加えず、記事の重要な内容を簡潔かつ正確に記述したもの。

解答群

- | | | | |
|---------|-------|----------|-------|
| a. MARC | b. 索引 | c. シソーラス | d. 主題 |
| e. 抄録 | f. 書誌 | g. 分類 | h. 目録 |

問14-A 次の文章の(66)～(70)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

主題分析とは、複雑で多様な内容をもつ主題を、その構成要素である主要な(66)、すなわち(67)に分析することである。(67)の中で、それらの核となる要素を、特に(68)という。主題分析は、どのような情報が書かれているか、主題は何かを探ることを目的とする作業である。人間による(69)とコンピュータによる(69)の大きな違いは、主題分析が行われているか、いないかということである。主題分析で最も重要なことは、(66)を分析することであり、コンピュータによる(70)の研究も進んできているものの、人間による主題分析と同じ作業を行うのはなかなか難しいといえる。

解答群

- | | | |
|---------|--------------|---------|
| a. 概念 | b. キーワード抽出作業 | c. 件名 |
| d. 主題中心 | e. 主題要素 | f. 情報 |
| g. データ | h. 分類 | i. 連想検索 |

問15-A 次の(71)～(75)の各文章について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを
解答用紙にマークしなさい。

- (71) KWIC索引は、キーワードをそれが本来あった文脈から取り出して見出しとし、その下に標題またはその一部をキーワードも含めて表示した索引である。
- (72) 巻末索引とは、書物の巻末索引や百科事典などのような多巻ものの索引、雑誌の総索引などのいわゆる内容索引、事項索引、用語索引をいう。
- (73) 引用文献索引は、ある文献が発表後、他の文献に引用された被引用文献の索引と、引用した文献の索引の両方からなる索引である。
- (74) 書誌事項からアクセスするための索引として、主題索引、件名索引、事項索引、分類索引などがある。
- (75) 用例索引とは、ある特定の資料中に出てくる文章などをそのまま抜き出して作成した索引で、コンコーダンスともいわれる。『聖書』や『源氏物語』などが有名で、作品の研究などに使用される。

問16-A 次の(76)～(80)の文章について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを
解答用紙にマークしなさい。

- (76) データベースは、著作権法第三十二条で定義されている。
- (77) 日本では、1970年代半ば以降オンライン情報検索サービスが開始された。
- (78) 統計、株価などの数値データを収録したデータベースは、文献データベースに分類される。
- (79) データベース提供機関は、データベース作成機関からデータベースを購入して、自社のホストコンピュータおよび検索システムを介して利用者に提供しているが、データベース作成機関が自社の検索システムを持ち、提供機関を兼ねている場合も多い。
- (80) 1990年代に、日本においてCD-ROMデータベースが登場した。

問17-A 次の(81)～(85)に記載されたデータベース群のカテゴリーを表す最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

(81) EMBASE、 MEDLINE、 PubMed

(82) PATOLIS、 CLAIMS、 BRANDY

(83) NDL-OPAC、 Webcat Plus、 CiNii Books

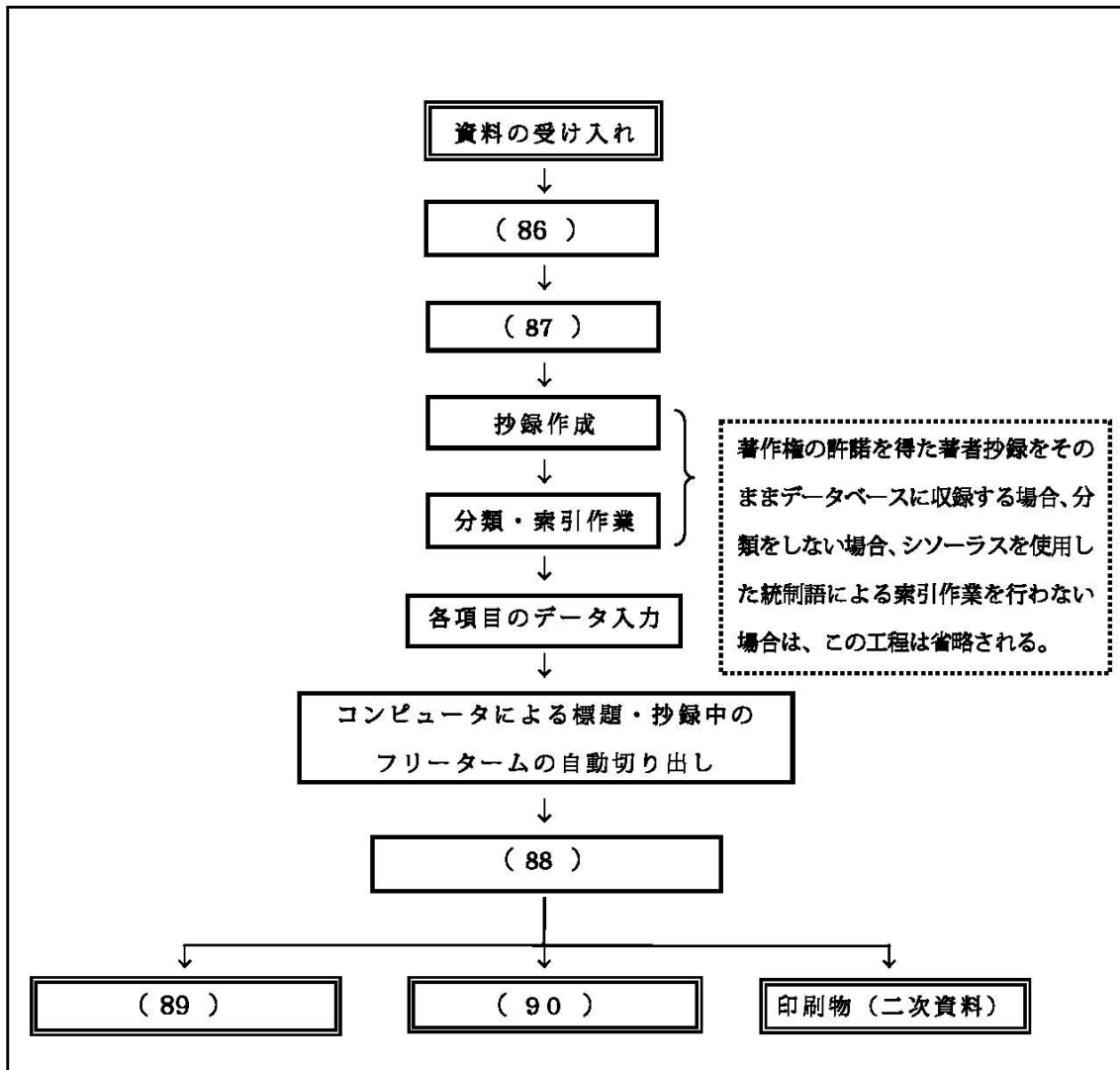
(84) COSMOS、 TSR、 D&B - Dun's Market Identifiers

(85) JSTPlus、 CAplus、 NTIS

解答群

- | | | |
|----------|--------------|--------------|
| a. 医学文献 | b. 科学技術・化学文献 | c. 科学技術・工学文献 |
| d. 企業情報 | e. 新聞記事 | f. 蔵書 |
| g. 特許・商標 | h. 特許・著作権 | i. 法律情報 |

問18-A 次の図は、文献データベースの作成工程を表している。図中の(86)～(90)にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。



解答群

- | | | |
|-----------------|----------------|-------------|
| a. CD-ROMデータベース | b. オンラインデータベース | c. 記事採択 |
| d. 校正 | e. 書誌データ入力 | f. データベース設計 |
| g. マスターファイルの作成 | h. 目録カードの作成 | |

選択Bコース

問13-B 次のレポート作成のステップについて、(61)～(65)にあてはまる最も適切な文章を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- ① テーマに関する概要、基礎的知識を得る。
- ② (61)
- ③ 仮のアウトラインを考える。
- ④ (62)
- ⑤ (63)
- ⑥ アウトラインを考える。
- ⑦ (64)
- ⑧ 執筆する。
- ⑨ (65)
- ⑩ 体裁を整える。

解答群

- a. 情報カードなどを使って情報を記録し、それらを分類したりタイトルをつけたりして整理する。
- b. 序論、本論、結論の三段構成になるようにレポートの構成を考える。
- c. テーマに関する専門書や学術雑誌に掲載された論文などを収集し、情報を得る。
- d. テーマについて具体的に検討すべき話題を取り上げ、それを論点、問題点として設定する。
- e. 内容を推敲し、必要に応じて修正する。

問14-B 次の(66)～(70)の説明について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを解答用紙にマークしなさい。

- (66) ブログは、ウェブログ (Weblog) を略したことばで、日記風のWeb サイトのことを指す。
- (67) HTMLによって記述される文書に使われるタグは、一般に対になって用いられるが、開始タグは</html>のようにスラッシュを使って記述される。
- (68) ホームページの作成にあたっては、内容に加えて見た目のわかりやすさ、使いやすさを求めることや、ユニバーサルデザインを意識することが重要である。
- (69) 電子メールは、投稿者の所属や氏名のパターンを使い分けて署名することができる便利な機能があり、これをサムネイルと呼ぶ。
- (70) メーリングリストは、一つのメールアドレスをグループで共有し、情報交換することができる、電子メールを利用した情報発信の方法である。

問15-B 次の文章について、(71)～(75)にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

レポート執筆にあたっては、まず、わかりやすい表現を用いながら、文章を簡潔に書くことを心がける。文体は、(71)を用いる。

他人の意見や事実を示した情報をレポートに引用する場合、引用した箇所は、自らが書いた文章とはっきり区別して書かなければならない。また、どの著作から引用したものか、その出所を明示することが必要である。これらを守らないものは(72)と呼ばれる。なお、引用文献を記述する方法を示した基準として、(73)がある。

文章で表現することが困難な場合、あるいは視覚的に訴えたほうがわかりやすい場合などに図や表を用いると効果的である。しかしながら、図表はあくまで本文の内容を補完するものであることに留意する。

表は、大量の(74)を処理、表現できるだけでなく、複数の情報の要点を簡潔にまとめたり、さまざまな観点から情報を整理したりできるという特徴をもつ。さらに、表に表現された(74)を視覚化したものがグラフである。たとえば、(75)は量の変化を時系列に表現するのに適している。それぞれの用途や特徴に見合ったグラフを使用することがポイントである。

解答群

- | | | | |
|----------|----------|---------|-----------|
| a. JST | b. SIST | c. 円グラフ | d. 折れ線グラフ |
| e. 数値データ | f. である | g. ですます | h. 被引用 |
| i. 剽窃 | j. 文字データ | | |

問16-B 次の(76)～(80)に最も関連する語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

(76) 図、Photoshop、ペイント

(77) スライド、アニメーション、プロジェクト

(78) テーブル、フィールド、SQL

(79) HTML、ブラウザ、Chrome

(80) 因子分析、SPSS、回帰分析

解答群

- | | | |
|-----------------|--------------|--------------|
| a. Webページ閲覧ソフト | b. グラフィックソフト | c. データベースソフト |
| d. 電子メールソフト | e. 統計解析ソフト | f. 表計算ソフト |
| g. プレゼンテーションソフト | h. ワードプロソフト | |

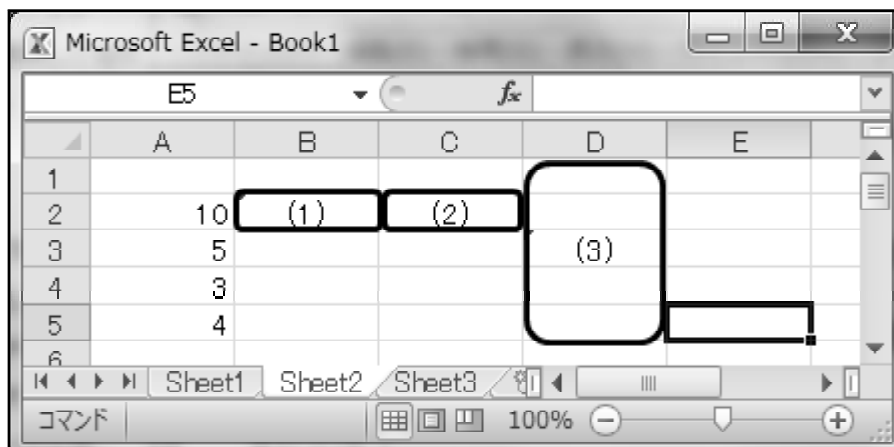
問17-B 次の文章の(81)～(85)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

ワープロとは、(81)の略語で、文書を作成したり編集したりするための機能を備えたハードウェアやソフトウェアのことである。ワープロソフトの主な機能は、文章の入力や編集、完成した文書の(82)であるが、他のアプリケーションソフトで作成した図やグラフ、パソコンに取り込んだ写真データを挿入するなどの機能も提供している。ワープロソフトの代表的なものには、Microsoft社の(83)と、ジャストシステム社の(84)、Apple社の(85)があげられる。

解答群

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| a. Adobe | b. Pages | c. Word |
| d. 一太郎 | e. 印刷 | f. コンピュータ |
| g. 削除 | h. プリンタ | i. ワードプロセッサ |

問18-B 次の(86)～(90)の各文章について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを解答用紙にマークしなさい。



(86) 図の(1)と(2)のセルの値の合計を計算するときは「=B2+C2」とする。

(87) 図のA1のセルに「=MIN(A2:A5)」と入力すると結果は3となる。

(88) 平均値を計算するときはSUM関数を使う。

(89) 図は「Sheet1」シートを表示している。

(90) 図の(3)はすべてD列のセルである。